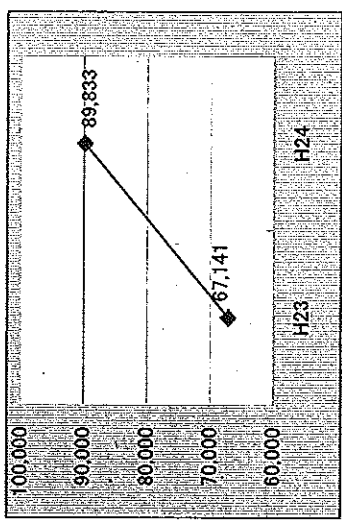


基本方針5 みんなが学べる生涯学習社会の実現

番号	事業名、数値目標実績	事業目的	事業目的	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性
93	<p>「徳島県立総合高等学校」の学習支援機能の充実 ○生涯学習情報システム指導者・団体新規登録者数</p> <p>多様な学習機会の提供</p>	<p>事業目的 県と市町村、及び県内生涯学習関連施設等が連携し、収集した生涯学習情報をデータベースとして集積し、インターネットを利用して県民や市町村、生涯学習施設等に公開することにより、学習活動の支援と良質な生涯学習情報の提供を行う。</p> <p>取組状況 提供している情報の種類は、講座・イベント、人材・指導者、団体・サークル、施設、視聴覚教材、マナビイセンター図書情報の6種類となっており、インターネットを利用し情報提供を行っている。指導者情報については、平成22年4月より総合高等学校「人材登録システム」と統合し、「まなびあ人材バンク」と改称、運用している。人材・指導者、団体サークル情報の新規登録者数を確保するために、徳島県内の大学と徳島県教育委員会との連携に関する連絡協議会生涯学習ネットワーク部会で、県内5大学の教職員に指導者登録を依頼している。また、講座・イベント入力システムを平成22年度から新たに導入し、総合高等学校の連携先の機関がインターネットを介して登録情報の更新ができるようになった。</p>	<p>取組状況 提供している情報の種類は、講座・イベント、人材・指導者、団体・サークル、施設、視聴覚教材、マナビイセンター図書情報の6種類となっており、インターネットを利用し情報提供を行っている。指導者情報については、平成22年4月より総合高等学校「人材登録システム」と統合し、「まなびあ人材バンク」と改称、運用している。人材・指導者、団体サークル情報の新規登録者数を確保するために、徳島県内の大学と徳島県教育委員会との連携に関する連絡協議会生涯学習ネットワーク部会で、県内5大学の教職員に指導者登録を依頼している。また、講座・イベント入力システムを平成22年度から新たに導入し、総合高等学校の連携先の機関がインターネットを介して登録情報の更新ができるようになった。</p>	<p>事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性</p> <p>○【平成24年度の取組状況】平成24年度の指導者・団体新規登録者数(累計)は、100件(個人が91名、団体は9団体)と数値目標を上回った。</p> <p>○【2年間の評価】徳島県内の大学と徳島県教育委員会との連携に関する連絡協議会生涯学習ネットワーク部会での取組により、大学の教職員の新規登録者が21名おり、着実に登録者数が増加してきている。</p> <p>○【今後の取組及び方向性】人材・指導者情報については、生涯学習に関する講座をしていただいた講師の方に、登録の依頼を行っていく。団体・サークル情報については、マナビイセンター来館者等に登録の案内を行っていく。</p> <p>○【第2期計画】4-5-2「学習成果を社会に還元する機会の実現」【生涯学習情報システムの団体・人材新規登録者数(累計)】</p>
94	<p>生涯学習推進体制の充実</p>	<p>事業目的 県民に多様な学習機会を提供し、指導者の育成と個人のスキルアップの向上に寄与することを目的とする。</p> <p>取組状況 総合高等学校の講師や県民研究員として活躍しうる人材を「とくしま学博士」として5名認定した(政策創造部県立総合高等学校本部)。(認定者数は毎年度10名前後を目安とし平成21・22年度は各11名、平成23年度は9名。)</p> <p>地域における生涯学習のリーダー育成のために「女性のためのスキルアップ講座」、家庭教育支援者の育成のために「孫育てホントカアアップ講座」や「父親カルネササンス推進講座」を開催した。</p> <p>受講者の中から、希望者を「徳島県生涯学習情報システム(まなびひろば)」の人材・指導者情報に登録することにより、県民の誰もが講師依頼をすることができるようにした。</p>	<p>事業目的 県民に多様な学習機会を提供し、指導者の育成と個人のスキルアップの向上に寄与することを目的とする。</p> <p>取組状況 総合高等学校の講師や県民研究員として活躍しうる人材を「とくしま学博士」として5名認定した(政策創造部県立総合高等学校本部)。(認定者数は毎年度10名前後を目安とし平成21・22年度は各11名、平成23年度は9名。)</p> <p>地域における生涯学習のリーダー育成のために「女性のためのスキルアップ講座」、家庭教育支援者の育成のために「孫育てホントカアアップ講座」や「父親カルネササンス推進講座」を開催した。</p> <p>受講者の中から、希望者を「徳島県生涯学習情報システム(まなびひろば)」の人材・指導者情報に登録することにより、県民の誰もが講師依頼をすることができるようにした。</p>	<p>事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性</p> <p>○【平成24年度の取組状況】参加者は講座受講、研修、体験学習を通じて自らのスキルアップをはかるとともに、地域における学習リーダーとしての資質を向上させることができた。</p> <p>○【5年間の取組状況】より多くの受講生の方に指導者として登録していただくため、受講者に「まなびあ人材バンク」の各種講座の充実を図り、これらの講座で学んだ学習の成果を県民に還元していくため、受講者に「まなびあ人材バンク」の新規指導者として登録していただけるよう働きかけを行い、指導者の登録者数を増やしていく。</p> <p>○【第2期計画】4-5-2「学習成果を社会に還元する機会の実現」【生涯学習情報システムの団体・人材新規登録者数(累計)】</p>

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																
95	多様な学習機会の提供	事業名、数値目標実績 学芸員養成科目の開設 ○学芸員養成科目の開設	事業目的 文化の森文化施設と徳島大学、鳴門教育大学、四国大学の3大学が連携し、大学の履修科目である学芸員養成科目を、文化の森文化施設で開講する。 取組状況 平成24年8月22日に3大学(徳島大学、鳴門教育大学、四国大学)と協定を締結し、①博物館資料保存論、②博物館展示論、③博物館教育論について、文化の森文化施設において、開講することとした。 平成24年度には、9月に文化の森で学芸員養成科目を開講した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>開講</td> <td>達成</td> <td>開講</td> </tr> </tbody> </table> H24新規	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	-	-	開講	達成	開講
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	-	-	-	-	開講	達成	開講												
			評価 ○【平成24年度の評価】四国大学1年生28名の受講があった。 平成25年度から、徳島大学の2年生、鳴門教育大学の2年生も参加し、秋(9月)、春(3月)に講座を開講する。																
96	学びの環境の充実	事業名、数値目標実績 文化の森総合公園文化施設の機能充実 ○文化の森各文化施設入館者総数(累計) <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入館者総数(累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>1,390</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>1,463</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>1,546</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1,626</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1,702</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1,772</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	入館者総数(累計)	H19	1,390	H20	1,463	H21	1,546	H22	1,626	H23	1,702	H24	1,772	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性 文化の森総合公園文化施設において、文化や芸術に直接触れ合う機会の充実を図り、多くの県民に足を運んでいただける新鮮で魅力ある事業を実施する。 常に新鮮で、より多くの県民に親しまれる魅力ある事業を実施するなど文化の森総合公園文化施設の機能充実を図った。 ・博物館 企画展 2回, 特別陳列 1回, 普及行事 104回を開催 ・近代美術館 特別展 3回, 普及行事 59回を開催 ・鳥居龍蔵記念博物館 特別陳列 1回, 普及行事10回を開催 国民文化祭協賛行事を実施したほか、文化の森美術館が一体となった「文化の森サマーフュエスティブル」、「文化の森大秋祭り」を開催した。		
年度	入館者総数(累計)																		
H19	1,390																		
H20	1,463																		
H21	1,546																		
H22	1,626																		
H23	1,702																		
H24	1,772																		
			評価 ○【5年間のまとめ】入館者総数(累計)1,800万人の目標は、わずかに達成できなかったが、各館で様々な企画事業・普及行事を実施した他、平成22年度には鳥居龍蔵記念博物館を開館した。 また、様々な人たちが広く活動の場を提供する機会として、県民参加型のチャレンジとくしま芸術祭を平成21年度から新たに実施するなど、新鮮で魅力ある文化の森づくりに取り組むことができた。 引き続き、県民に足を運んでいただけるよう魅力的な企画事業・普及事業の開催に努め、さらに各館で趣向を凝らしたイベントの実施に取り組む。また、積極的な広報に努める。 ○【第2期計画】4-2-1「文化の森総合公園文化施設の充実」【文化の森総合公園各文化施設入館者総数(累計)】																

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																
97	学びの環境の充実	とくしまネットワーク図書館の構築 ○とくしまネットワーク図書館	<p>「とくしまネットワーク図書館」を構築することにより、県立図書館と市町村立図書館等の連携を一層強め、図書館利用者へのサービス向上や利便性向上を図り、地域格差のない図書館サービスを提供する。</p> <p>平成19年度から整備・推進していた、県民が「いつでも・どこでも」必要な図書館サービスを受けられることができる県立図書館を核とした県下図書館の連携による「とくしまネットワーク図書館」システムを構築し、平成22年10月1日に運用を開始した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>構築</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>達成</td> <td>構築</td> </tr> </tbody> </table> <p>○【5年間のまとめ】システムの運用により、自宅にいながら県立図書館の蔵書の検索・予約ができ、予約した県立図書館の蔵書を最寄りの市町村立図書館等で受け取ることができるなど、地域格差のない図書館サービスを提供することができた。</p> <p>引き続き、市町村立図書館等と連携を密にしなが、システム利用促進に向けて取り組んでいく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	推進	推進	構築	運用	運用	達成	構築
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	推進	推進	構築	運用	運用	達成	構築												
98	学びの環境の充実	文化の森振興本部 事業名、数値目標実績 とくしまネットワーク図書館の構築 ○市町村立図書館への貸出冊数(累計)	<p>「とくしまネットワーク図書館」を構築することにより、県立図書館と市町村立図書館等の連携を一層強め、図書館利用者へのサービス向上や利便性向上を図り、地域格差のない図書館サービスを提供する。</p> <p>市町村立図書館への協力貸出冊数 18,321冊 図書館未設置町への協力貸出冊数 1,760冊 県立学校への協力貸出冊数 2,611冊</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>67,141</td> <td>89,833</td> <td>112.3%</td> <td>80,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>○【2年間のまとめ】システムの運用により、自宅にいながら県立図書館の蔵書の検索・予約ができ、予約した県立図書館の蔵書を最寄りの市町村立図書館等で受け取ることができるようになり、市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会への貸出冊数が増加した。</p> <p>引き続き、市町村立図書館等と連携を密にしなが、システム利用促進に向けて取り組んでいく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	—	67,141	89,833	112.3%	80,000
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	—	—	67,141	89,833	112.3%	80,000												



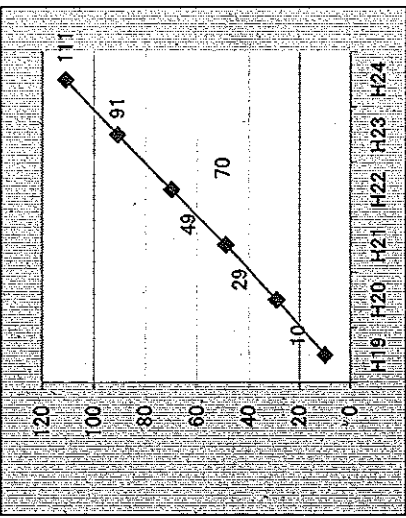
番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性								
99	学びの環境の充実	図書館機能の活用 ○ 図書館企画事業数(累計) <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>事業数</th></tr> <tr><td>H22</td><td>190</td></tr> <tr><td>H23</td><td>253</td></tr> <tr><td>H24</td><td>324</td></tr> </table>	年度	事業数	H22	190	H23	253	H24	324	事業目的 県立図書館において、企画展示や関係機関との連携協力による共催事業を開催することにより、図書館から情報を発信し、図書館機能の幅広い活用を進める。 取組状況 放送大学と連携して毎月1回土曜日に「まなびの森」講演会の開催、平成24年9月～10月には兵庫県立図書館との交流企画展を実施した。 また、おはなし会や企画展示など、図書館の情報発信力を高め、図書館の多角的な機能の活用を進めた。 評価 ○【平成24年度の取組】平成24年度の「まなびの森」講演会は603名、おはなし会等は982名の参加があった。 ○【3年間のまとめ】関係機関との連携協力により、県民が興味を持っていると思われるテーマや、時期にあったテーマで企画展示事業を実施することができた。 今後の取組及び方向性 平成25年度も引き続き、放送大学との共催事業「まなびの森」講演会、関西図書館との交流企画事業として兵庫県立図書館・鳥取県立図書館と共同企画展を実施する。図書館の情報発信力を高め、図書館の多角的な機能の活用促進に努める。
年度	事業数										
H22	190										
H23	253										
H24	324										
100	郷土に根ざした学びの推進	文化の森振興本部 事業名、数値目標実績 博物館と学校との連携 ○ 学校の授業への講師派遣回数(累計) <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>回数</th></tr> <tr><td>H22</td><td>90</td></tr> <tr><td>H23</td><td>121</td></tr> <tr><td>H24</td><td>159</td></tr> </table>	年度	回数	H22	90	H23	121	H24	159	事業目的 学校への博物館資料の貸し出しや出前授業、博物館での授業、職働体験などを行うことにより、学校教育を支援し、博物館と学校との連携を進める。 取組状況 平成24年度は、学校からの依頼に応じて、学校での授業に学芸員を38回派遣した。 学校での授業では、学芸員はティーム・ティーチングの手法により教員と協同し、持参した博物館資料を活用するなどとして児童・生徒の理解を助けるよう支援した。 評価 ○【3年間のまとめ】子どもたちが郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができるよう、学校での授業(教室外での観察会等を含む)に博物館学芸員を講師として派遣した。教員と協同して持参した博物館資料を活用することなどにより、児童・生徒が理解を深められるよう工夫した。 今後の取組及び方向性 博物館と学校が連携することにより、学校教育を支援し、博物館の持つ資源(もの・情報・人)とその活用方法を普及し、博物館利用者の増加につながるよう事業に取り組む。 ○【第2期計画】4-3-1「郷土とくしくしまに気づき学ぶ機会の実現」【博物館、近代美術館、文書館、鳥居龍藏記念博物館の学校への講師派遣回数】
年度	回数										
H22	90										
H23	121										
H24	159										

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																																
101	<p>郷土に根ざした学びの推進</p> <p>文化の森振興本部</p> <p>事業名、数値目標実績</p> <p>県立鳥居龍藏記念博物館の移転・整備</p> <p>○県立鳥居龍藏記念博物館</p>	<p>事業目的</p> <p>専門にあった鳥居龍藏記念博物館を文化の森内に移転し、各館の機能と融合させ、一層の相乗効果を発揮し、専任職員による整理・調査を進め、県民に親しまれる「鳥居龍藏記念博物館」を目指す。</p> <p>鳥居龍藏博士の功績を広く紹介するため、平成19年度から検討・開設準備を進めていた徳島県立鳥居龍藏記念博物館が、平成22年11月3日に文化の森総合公園内に開館した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>整備</td> <td>整備</td> <td>開館</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>達成</td> <td>開館</td> </tr> </tbody> </table> <p>○【5年間のまとめ】徳島が生んだ世界的な人類学・考古学・民族学者である鳥居龍藏博士を「鳥居龍藏の見たアジア」「鳥居龍藏の生涯」「鳥居龍藏に学ぶ」の3つのゾーンで紹介し、説明パネルを手元に配置したり、照明器具にはLEDランプを使用するなど、人にも環境にも優しい博物館が完成した。</p> <p>来館者の増加に向けて、小中学校の遠足での来館促進、文化の森全体及び博物館の行う展示室を活用したイベントなどに参加して活性化を図る。</p> <p>また、鳥居博士に関係する博物館や研究機関と連携し、資料調査等を行うミュージアムネットワークの形成に取り組んでいく。</p> <p>事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性</p> <p>鳥居博士に関する調査研究や展示の充実を図るため、九州国立博物館や国立民族学博物館などとの共同研究に取り組み、相互協力のためのネットワークを形成する。</p> <p>国立民族学博物館、北海道大学アイヌ先住民研究センターなどアイヌ関係の研究機関と交流を行った。</p> <p>九州地方に関する館蔵資料の調査に関連して、肥後考古学会、鹿児島県考古学会、宮崎県立西都原考古博物館と共同で検討を行った。</p> <p>中国社会科学院考古学研究所の研究者に最新調査を紹介してもらった。</p> <p>大韓民国の東亜細亜考古学会の視察を受入れた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>100%</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>○【3年間のまとめ】東京大学総合研究博物館や国立民族学博物館を中心として国内の博物館、大学、研究機関等との交流、協力が図られたほか、台湾、中国、韓国、韓国の博物館や研究所などとの交流のきっかけができた。</p> <p>引き継ぎ、東京大学総合研究博物館や国立民族学博物館を中心として、諏訪・伊那地方をはじめ国内の鳥居龍藏関連資料を所蔵する大学、博物館などとの連携を深める。</p> <p>また、台湾、中国、韓国など鳥居が調査した近隣地域の研究機関との交流をより一層深める。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	整備	整備	開館	→	→	達成	開館	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	2	3	5	100%	5
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																											
—	整備	整備	開館	→	→	達成	開館																											
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																											
—	—	—	2	3	5	100%	5																											
102	<p>郷土に根ざした学びの推進</p> <p>文化の森振興本部</p> <p>事業名、数値目標実績</p> <p>県立鳥居龍藏記念博物館の移転・整備</p> <p>○ミュージアムネットワーク連携機関数(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>連携機関数(累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	連携機関数(累計)	H22	2	H23	3	H24	5	<p>事業目的</p> <p>郷土に根ざした学びの推進</p> <p>文化の森振興本部</p> <p>事業名、数値目標実績</p> <p>県立鳥居龍藏記念博物館の移転・整備</p> <p>○ミュージアムネットワーク連携機関数(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>連携機関数(累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	連携機関数(累計)	H22	2	H23	3	H24	5																
年度	連携機関数(累計)																																	
H22	2																																	
H23	3																																	
H24	5																																	
年度	連携機関数(累計)																																	
H22	2																																	
H23	3																																	
H24	5																																	

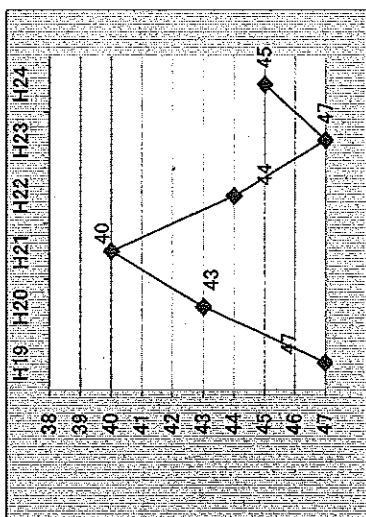
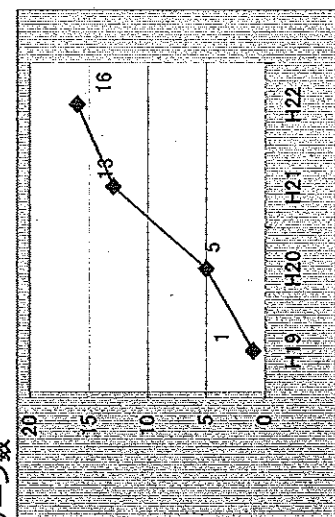
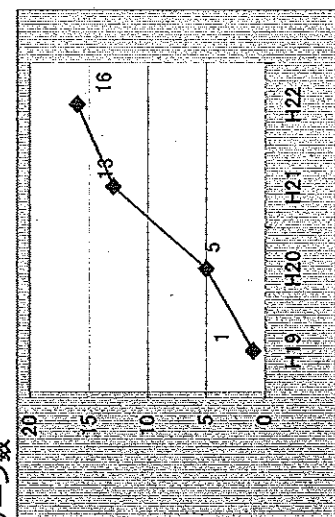
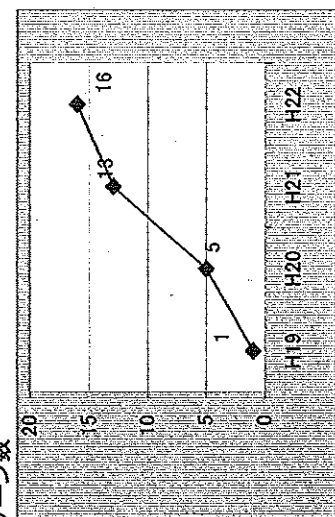
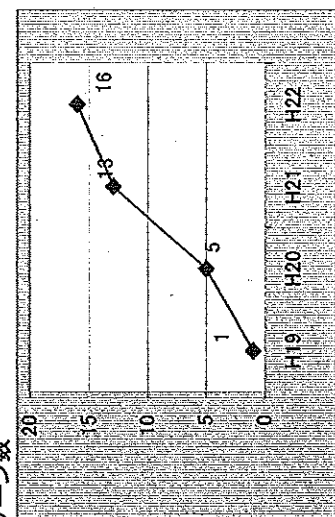
基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																																
103	<p>生涯スポーツの推進 ○「徳島県スポーツ振興基本計画」の見直し</p> <p>生涯スポーツの振興</p>	<p>「徳島県スポーツ振興基本計画」は平成16年度から平成22年度までの7年間を計画の基本として策定され、現行の計画が終期を迎えたために見直しすることとする。</p> <p>50年ぶりに全面改正された「スポーツ基本法」が平成23年8月に施行され、平成24年3月には、国の「スポーツ基本計画」が策定されたことに伴い、「徳島県スポーツ推進審議会」を10月、2月に開催し、新しい計画の審議を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>見直し</td> <td>見直し</td> <td>策定</td> <td>達成</td> <td>策定</td> </tr> </tbody> </table> <p>○【平成24年度の評価】「徳島県スポーツ推進審議会」における審議等を経て、本県スポーツ推進の基本的な方向性を示す新たな「徳島県スポーツ推進計画」を策定した。</p> <p>○【5年間のまとめ】「徳島県スポーツ振興基本計画」に則り、「生涯スポーツ」「競成スポーツ」の振興、「学校における体育スポーツの充実」など、県民スポーツの成果や現在の課題等を踏まえ新たな計画を策定することにより、今後のスポーツ推進の基本的な方向性を示した。</p> <p>各市町村、スポーツ関係団体等が、それぞれの役割分担を明確にし、緊密に連携・協働しながら、計画に盛り込まれた施策を計画的に実施し、施策目標の達成状況を毎年度評価・検証する。</p> <p>○【第2期計画】1-4-2「スポーツを通じて豊かな生活の創造」【徳島県スポーツ推進計画の着実な推進】</p> <p>事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性</p> <p>県民をあげて様々な形でスポーツに取り組める環境を整えることで、一人ひとりの健康や健全な社会づくりを目指すとともに、本県のスポーツ人口の増加や競技力の向上を図る。</p> <p>「とくしまスポーツ憲章」に則り、「徳島県スポーツ推進計画」を策定し、県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツを通じて県民の元気を創造する「とくしまスポーツ王国づくり」の実現のため、生涯スポーツの推進を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>—</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>○【平成24年度の評価】「徳島県スポーツ推進審議会」における審議等を経て、本県スポーツ推進の基本的な方向性を示す新たな「徳島県スポーツ推進計画」を策定した。</p> <p>○【5年間のまとめ】「とくしまスポーツ王国づくり」の実現を目指して制定した「とくしまスポーツ憲章」に則り、県民スポーツの振興を図った。</p> <p>徳島県スポーツ推進計画の基本理念及び4つの基本目標の実現に向け、学校における体育・スポーツの充実やトップアスリート及び指導者の育成、総合型地域スポーツクラブの機能強化等の各種施策を実施する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	見直し	見直し	策定	達成	策定	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	推進	推進	推進	推進	推進	—	推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																											
—	—	—	見直し	見直し	策定	達成	策定																											
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																											
—	推進	推進	推進	推進	推進	—	推進																											
104	<p>生涯スポーツの推進 ○「とくしまスポーツ憲章」を制定し、スポーツに親む気運を醸成し、とくしまスポーツ王国づくりの実現を目指す。</p> <p>生涯スポーツの振興</p>	<p>「とくしまスポーツ憲章」に則り、「徳島県スポーツ推進計画」を策定し、県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツを通じて県民の元気を創造する「とくしまスポーツ王国づくり」の実現のため、生涯スポーツの推進を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>—</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>○【平成24年度の評価】「徳島県スポーツ推進審議会」における審議等を経て、本県スポーツ推進の基本的な方向性を示す新たな「徳島県スポーツ推進計画」を策定した。</p> <p>○【5年間のまとめ】「とくしまスポーツ王国づくり」の実現を目指して制定した「とくしまスポーツ憲章」に則り、県民スポーツの振興を図った。</p> <p>徳島県スポーツ推進計画の基本理念及び4つの基本目標の実現に向け、学校における体育・スポーツの充実やトップアスリート及び指導者の育成、総合型地域スポーツクラブの機能強化等の各種施策を実施する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	推進	推進	推進	推進	推進	—	推進																
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																											
—	推進	推進	推進	推進	推進	—	推進																											

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																
105	生涯スポーツの振興	生涯スポーツの推進 ○総合型地域スポーツクラブの設立数 	<p>事業目的 県民の誰もが、自分の体力などに応じて気軽に運動やスポーツに取り組み、全ての市町村における総合型地域スポーツクラブの設立を目指す。</p> <p>取組状況 総合型地域スポーツクラブの未設置市町や新たなクラブ設立を目指す市町に対し、啓発フォーラムの開催やクラブ育成アドバイザーの定期派遣を行うなど、設立に向けた支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>25</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>110.7%</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 ○【平成24年度の評価】未設置の2町に対し、啓発フォーラムの開催やクラブ育成アドバイザーを定期的に派遣するなどの支援を行った。 ○【5年間のまとめ】未設置の市町に対する働きかけの結果、新たに5市町においてクラブが設立されたほか、既設の市町においても、活動の拡充や新しいクラブ設立に向けての相談・支援体制を整えた。</p> <p>今後の取組及び方向性 ほぼ全市町村に設立された総合型地域スポーツクラブが、地域コミュニティの核として発展していくよう、4-6-1(生涯スポーツの充実)において、クラブ会員数を新たな成長指標に設定し、各クラブの活動充実と機能強化を図る。 ○【第2期計画】4-6-1「生涯スポーツの振興」【総合型地域スポーツクラブ会員数】</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	21	25	28	29	31	31	110.7%	28
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
21	25	28	29	31	31	110.7%	28												
106	生涯スポーツの振興	生涯スポーツの推進 ○健康づくり実践プログラムの作成・推進 県民スポーツ課	<p>事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性 総合型地域スポーツクラブにおいて、成人の生活習慣病予防や対策のための運動プログラムを実施し、その効果を検証する。</p> <p>事業目的 「みんなであつくり！健康とくしま県民会議(運動と健康づくり専門部会)」において、昨年実施したプログラムの検証や一部修正を行い、更なる効果的なプログラムの作成や総合型地域スポーツクラブでの事業実施を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>作成</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>達成</td> <td>作成</td> </tr> </tbody> </table> <p>取組状況 ○【平成24年度の評価】運動プログラムの実施は、生活習慣病予防や改善、また、高齢者の健康づくりに大きな効果を出している。 ○【5年間のまとめ】これまで、運動プログラムを実施したすべての総合型地域スポーツクラブで減量の成果を出しており、運動プログラムの効果の検証を行うことができた。 今後とも、地域の医療分野等との連携を図りながら、県民の健康づくりに取り組んでいく。</p> <p>評価 ○【平成24年度の評価】運動プログラムの実施は、生活習慣病予防や改善、また、高齢者の健康づくりに大きな効果を出している。 ○【5年間のまとめ】これまで、運動プログラムを実施したすべての総合型地域スポーツクラブで減量の成果を出しており、運動プログラムの効果の検証を行うことができた。 今後とも、地域の医療分野等との連携を図りながら、県民の健康づくりに取り組んでいく。</p> <p>今後の取組及び方向性 県民スポーツ課</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	作成	推進	推進	推進	達成	作成
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	-	作成	推進	推進	推進	達成	作成												

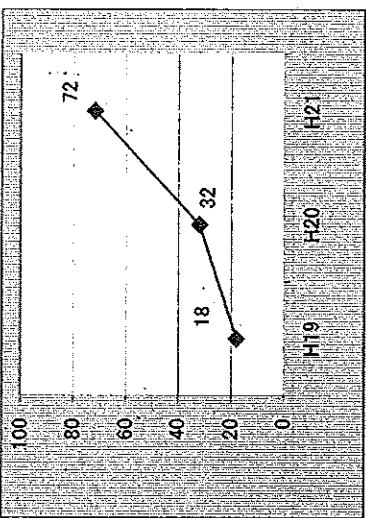
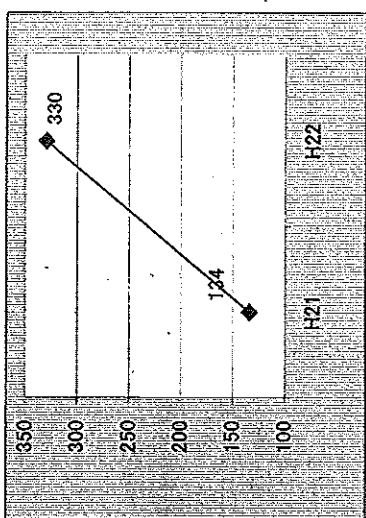
番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性
107	生涯スポーツの振興	生涯スポーツの推進 ○「とくしまスポーツSHOWデー」実行委員会によるイベント等助成数 	事業目的 県民のスポーツ実施率の向上と、健康づくりに取り組むことができる県民意識を高めることを目的とする。 取組状況 平成23年7月に設立した「スポーツ王国とくしま推進会議」の事業として、各企業の協賛金等を活用し、生涯スポーツ振興に寄与するスポーツイベントを企画し運営する県内の団体・グループに助成を行った。 評価 ○【平成24年度の評価】多様なスポーツイベント等に助成することで、多くの県民が「するスポーツ」「みるスポーツ」に親しむことができた。 ○【5年間のまとめ】助成件数も増加し、県内で多くのスポーツイベントが開催されるとともに、「スポーツSHOWデー」応援事業として、全国大会等に出場する県代表選手やチームを応援するオリジナルの観戦帯等を貸し出すことにより、幅広い視点からスポーツ振興を図ることができた。 今後の取組及び方向性 今後とも、様々な立場からスポーツに関する活動を支援することにより、スポーツ実施率の向上や健康意識の醸成を図っていく。
108	生涯スポーツの振興	生涯スポーツの推進 ○鳴門渦潮高校をスポーツの拠点校として推進 県民スポーツ課 体育学校安全課	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性 事業目的 鳴門渦潮高校を、本県のスポーツ拠点として、生涯スポーツの担い手となる人材を育成する。 取組状況 平成24年4月の鳴門渦潮高校の開校し、鳴門教育大学との高大連携をはじめとし、大学、県体育協会、各種競技団体との連携を図り、スポーツ拠点としての機能を充実させた。 評価 ○【平成24年度の評価】大学や競技団体と連携し、総合的な体力診断や指導者講習会、スポーツ教室の開催をおとしてスポーツの振興を図ることができた。 今後の取組及び方向性 県の新たなスポーツ拠点として、大学、県体育協会、各種競技団体等と連携し、鳴門渦潮高校の生徒のみならず、広く県下の小学生・中学生・高校生・高校生一般の選手を対象としたスポーツ科学分析機器を活用した科学的なサポートや、セミナー・講習会等を開催することにより、生涯スポーツの担い手となる人材を育成していく。

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																
109 新	<p>生涯スポーツの振興</p> <p>生涯スポーツの推進 ○育成プログラムへの参加者数</p> <p>体育学校安全課</p>	<p>中学生を対象に競技人口の少ない競技の体験プログラムを開講し、中学生が実技体験をすることで新たなアスリートへの発掘に繋げる</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>30</td> <td>100%</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>H24新規</p> <p>評価</p> <p>○【平成24年度の評価】30名の参加者があり、それぞれのプログラムを体験し、多様なスポーツの中から自らの適性に合ったスポーツへの関心や競技力の向上への期待が培われた。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>総合型スポーツクラブ等における類似の事業があるので廃止する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	-	-	30	100%	30
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
-	-	-	-	-	30	100%	30											
110 新	<p>生涯スポーツの振興</p> <p>生涯スポーツの推進 ○セミナーの開催回数</p> <p>体育学校安全課</p>	<p>事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性</p> <p>中学・高校の指導者に対して指導力の向上を図るため、スポーツ全般の様々な研修会を行う。</p> <p>取組状況</p> <p>「コーチング方法に関する研修」「心理サポートに関する研修」「体幹トレーニングに関する研修」の3回実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>75.0%</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>H24新規</p> <p>評価</p> <p>○【平成24年度の評価】延べ約100名の指導者が出席し、研修を行った。今後、研修内容をさらに充実させるとともに、参加者の増加に努める。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>県外から講師を招聘し研修内容の充実を図るとともに「地域スポーツ人材活用事業」と連携し研修の機会を増やすことで参加者の増加を図っていく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	-	-	3	75.0%	4
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
-	-	-	-	-	3	75.0%	4											

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																
111	競技力向上対策の推進 ○国民体育大会天皇杯順位 	事業目的 中期的にジュニア選手の競技力向上を図るため、県体協、県教委及び競技団体との連携を密に図り、発達段階に応じた「一貫指導システムの構築」と「優秀な指導者の養成」を目指す。 取組状況 平成21年度から実施している「徳島育ち競技力向上プロジェクト」において、優れた素質を持つジュニア選手の発掘からトップアスリートまで切れ目のない強化体制を構築するため、「競技者育成プログラム」の普及及び一貫指導を実施する体制の整備を着実に図っている。本年度は、23の競技団体が「育成プログラム」を作成及び修正することにより実践した。さらに、国体選手の競技力向上のため、成果志向型の選手強化に努めるとともに、医科学面からのサポート体制を充実させることにより、基盤強化を図っている。 <table border="1" data-bbox="367 380 462 1299"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47</td> <td>43</td> <td>40</td> <td>44</td> <td>47</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>30位台</td> </tr> </tbody> </table>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	47	43	40	44	47	45	-	30位台
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
47	43	40	44	47	45	-	30位台											
112	競技力向上対策の推進 ○中学校と高等学校の連携による競技力向上連携ゾーン数 	事業目的 中期的にジュニア選手の競技力向上を図るため、県体協、県教委及び競技団体との連携を密に図り、発達段階に応じた「一貫指導システムの構築」と「優秀な指導者の養成」を目指す。 取組状況 平成21年度から実施している「徳島育ち競技力向上プロジェクト」において、優れた素質を持つジュニア選手の発掘からトップアスリートまで切れ目のない強化体制を構築するため、「競技者育成プログラム」の普及及び一貫指導を実施する体制の整備を着実に図っている。本年度は、23の競技団体が「育成プログラム」を作成及び修正することにより実践した。さらに、国体選手の競技力向上のため、成果志向型の選手強化に努めるとともに、医科学面からのサポート体制を充実させることにより、基盤強化を図っている。 <table border="1" data-bbox="989 380 1085 1299"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	1	5	13	16			100.0%	16
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
1	5	13	16			100.0%	16											
	競技スポーツの振興 県民スポーツ課 事業名、数値目標実績 競技力向上対策の推進 ○中学校と高等学校の連携による競技力向上連携ゾーン数 	今後の取組及び方向性 ○トップレベルの競技者へと育てる「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」を継続するとともに、競技スポーツにおける成果指向型の選手強化を図り、更なる競技力向上を進める。 ○【第2期計画】1-4-1「競技スポーツの振興」【国民体育大会天皇杯順位の向上】																
	競技スポーツの振興 県民スポーツ課 事業名、数値目標実績 競技力向上対策の推進 ○中学校と高等学校の連携による競技力向上連携ゾーン数 	事業目的 中期的にジュニア選手の競技力向上を図るため、県体協、県教委及び競技団体との連携を密に図り、発達段階に応じた「一貫指導システムの構築」と「優秀な指導者の養成」を目指す。 取組状況 平成21年度から実施している「徳島育ち競技力向上プロジェクト」において、優れた素質を持つジュニア選手の発掘からトップアスリートまで切れ目のない強化体制を構築するため、「競技者育成プログラム」の普及及び一貫指導を実施する体制の整備を着実に図っている。本年度は、23の競技団体が「育成プログラム」を作成及び修正することにより実践した。さらに、国体選手の競技力向上のため、成果志向型の選手強化に努めるとともに、医科学面からのサポート体制を充実させることにより、基盤強化を図っている。 <table border="1" data-bbox="989 380 1085 1299"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	1	5	13	16			100.0%	16
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
1	5	13	16			100.0%	16											
	体育学校安全課 県民スポーツ課 事業名、数値目標実績 競技力向上対策の推進 ○中学校と高等学校の連携による競技力向上連携ゾーン数 	今後の取組及び方向性 ○【3年間のまとめ】指定校と中学校との関係の緊密化等により、中学生の技術力向上が図られるとともに、高等学校では、高校総体等全国大会での入賞者数が増えた。中学校・高校スポーツの競技力向上が着実に図られた。 事業は平成22年度で終了したが、平成23年度からも引き続き競技力向上スポーツ指定校が中心となり、地域の中学校との連携を図り、指導者と生徒が互いに交流し、中学校・高校の競技力向上を目指す。																

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																
113	競技力向上対策の推進 ○全国高等学校総合体育大会の入賞(団体・個人) 	事業目的 平成23年度より「競技力向上スポーツ指定校ステータスアップ事業」を開始した。本事業は、全国大会で活躍できる運動部を育成するとともに、指定校を核とした活動を支援することにより高校スポーツの競技力向上を図ることを目的としている。また、「競技スポーツ重点強化対策事業」として、指定校以外の有望選手に対する活動費の補助を行っている。 取組状況 スポーツ指定校に対して、①遠征・合宿等のための強化費の補助②指導者の適正配置③入学者選抜の特色選抜で募集人数を定めることができること等により、強化活動を支援している。さらに、指定校生以外の有望選手に対しても、競技スポーツ重点強化対策事業として、遠征や強化合宿に参加し強化を図るための活動支援を行っている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>66.7%</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> 評価 ○【平成24年度の評価】平成24年度全国高等学校総合体育大会での入賞は8つであるが、それと同格のライフル射撃選手権大会等の全国大会では、優勝を含め6つの入賞がある。また、国民体育大会では団体・個人合わせて17の入賞がある。 ○【3年間のまとめ】年度により増減はあるが、ライフル射撃で日本一になったり、ソフトテニスにおいて全国大会で4年連続入賞するなど、安定した競技実績をあげている。運動部が出てきている。 今後の取組及び方向性 「競技力向上スポーツ指定校ステータスアップ事業」における、指定校・指定部の育成に努め、競技力の向上を図る。また、専門渦潮高校等における最新機器の活用や科学的な根拠に基づいた新しい指導法によりレベルアップを図る。さらに、中学校や地域との連携を図り、底辺の拡大や競技力の向上及び本県のスポーツ振興に努める。	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	10	7	8	66.7%	12
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
—	—	—	10	7	8	66.7%	12											
114	事業名、数値目標実績 競技力向上対策の推進 ○専門渦潮高校の設置 事業名、数値目標実績 体育学校安全課	事業目的 専門渦潮高校の施設・設備の整備により、スポーツ拠点としての機能充実を図り、県全体の競技力向上に繋げる。 取組状況 専門的で効果的な教育設備として、「3次元画像動作解析システム」「トレーニング機器」を整備した。また教育環境として、第2グラウンドの人工芝敷設及びクラブハウスを整備するとともに、第2体育館(仮称)の改築に係る設計に着手した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>整備</td> <td>整備</td> <td>開校</td> <td>達成</td> <td>開校・整備</td> </tr> </tbody> </table> 評価 ○【平成24年度の評価】施設・設備を整備し、それらを活用してスポーツ選手の科学測定やトップ選手を招聘してのスポーツセミナーを開催し、競技力の向上を図った。 今後の取組及び方向性 県の新たなスポーツ拠点として、大学、県体育協会、各種競技団体等と連携し、スポーツ科学分析機器を活用した科学的なサポートの実施やセミナー・講習会等の開催により、国体・インターハイ等の全国大会で活躍できる選手並びに将来のスポーツ指導者の育成を図っていく。	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	整備	整備	開校	達成	開校・整備
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
—	—	—	整備	整備	開校	達成	開校・整備											

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																
115	競技スポーツの振興	競技力向上対策の推進 ○科学的サポートの実施人数 体育学校安全課	競技力に深く関わる「体力」について科学的に測定し、データを分析し選手及び指導者にフィードバックさせることで競技力の向上に繋げる。 高校のスポーツ指定校を中心に、体力診断テストだけでなく、体育協会やトレーナー協会やスポーツ栄養士協会と連携し総合的な体力診断を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>259</td> <td>86.3%</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> H24新規 ○【平成24年度の評価】259名の選手の選手の測定を行い、選手及び指導者に体力診断テストの重要性を認識してもらうことができ、平成25年度は、新たに全身持久力の能力を加えて測定する必要がある。 ○【第2期計画】1-4-1「競技スポーツの振興」【鳴門渦潮高校の振興】【鳴門渦潮高校のスポーツ科学機器を活用した体力測定人数】	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	—	—	259	86.3%	300
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	—	—	—	259	86.3%	300												
116	競技スポーツの振興	競技力向上対策の推進 ○徳島県スポーツ賞の推進 県民スポーツ課	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性 本県の競技力向上に貢献された選手や指導者、団体等の功績を称えることにより本県スポーツの一層の普及、振興を図ることとを目的とする。 全国大会等や国際大会で活躍した本県選手等を表彰するとともに、徳島ヴォルティスホーム開幕戦と同日に表彰式を開催し、歴代受賞者とともに氏名を「グランプリボード」へ掲示するなど、受賞者の功績を広く伝え、県民への周知を図った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>創設</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>達成</td> <td>創設・推進</td> </tr> </tbody> </table> ○【5年間のまとめ】競技選手や指導者の意欲向上につながるかとともに、多くの県民への周知が図られた。 優れた選手や指導者等の顕彰に努めるとともに、受賞者の功績を広く県民に広報できるよう、マスコミはもとより、ホームページ等を活用していく。また、県民の新たな活動意欲を喚起し、一人ひとりのライフステージに応じたスポーツライフの充実に繋げていく。	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	創設	推進	推進	推進	推進	達成	創設・推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	創設	推進	推進	推進	推進	達成	創設・推進												

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性
117	文化遺産の発掘と継承	文化財の保護・保存と活用 ○文化財マイスター—修了生数(累計) 	事業目的 徳島県内在住の建築有資格者を対象に歴史的建造物や文化財保護についての専門的な講義や演習等を実施し、文化財建造物の調査・修理・まちづくり等に参画できる専門技術者を養成する。 取組状況 平成21年度までの講義で、目標を上回る72名の建築士が修了した。県は、平成22年度から平成24年度まで実施した近代和風建築総合調査は、修了生で組織する「とくしま文化財マイスター—連絡協議会」に調査を委託した。また、県は市町村教育委員会に対し、建造物の指定・登録申請に文化財マイスターを活用するよう働きかけた。 評価 ○【平成24年度の評価】文化財マイスターの協力により、徳島県近代和風建築総合調査報告書を刊行した。また、登録有形文化財(建造物)が8棟増加した。 ○【5年間のまとめ】文化財マイスター—養成講座修了生の協力により近代和風建築総合調査を実施でき、登録有形文化財建造物が増加するなど大きな成果を収めた。 今後の取組及び方向性 文化財建造物の保存・活用を図るため、「とくしま文化財マイスター—連絡協議会」との連携を図る。また、市町村教育委員会が文化財マイスターの知識を活用して文化財建造物の保存活用を図るよう、働きかける。
118	文化遺産の発掘と継承	事業名、数値目標実績 教育文化政策課 文化財の保護・保存と活用 ○「発見!ふるさとの伝統文化」受講者数 	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性 事業目的 県内各地に残る「民俗芸能」や「伝統の技」の魅力や価値を、総合的かつ分かつたりやすく伝えるために、保存団体と協働して講演会や体験教室、現地講座などを実施する。これにより、伝統文化を広く県民に周知し、保存活動の活性化を図るとともに、種々な伝承の基盤形成を図る。 取組状況 国が平成23年度に「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」を新設したことに伴い、「発見!ふるさとの伝統文化」は平成22年度で終了した。平成23年度からは「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」を活用し、「徳島県地域伝統文化総合活性化プラン」事業の中で伝承者育成や普及啓発を行った。 評価 ○【平成24年度の評価】教育文化政策課に事務局をおく徳島県地域伝統文化総合活性化委員会、重要無形民俗文化財阿波人形浄瑠璃の伝承者育成を目的に、「阿波人形浄瑠璃伝承教室」を14日間開催し、35名が受講した。また、「あわ民俗芸能フォーラム」では、民俗芸能の上演を行い、約350名の参加者があった。 ○【5年間のまとめ】阿波人形浄瑠璃の継承者を育成するとともに、広く県民に民俗芸能や伝統の技に触れる機会を提供するなど、成果を収めた。 今後の取組及び方向性 教育文化政策課に事務局をおく徳島県地域伝統文化総合活性化委員会は、平成23年度から平成25年度までの間、「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」(平成25年度からは「文化遺産を活かした地域活性化事業」)を活用し、「徳島県地域伝統文化総合活性化計画」算定事業を実施する。その中で、県内の祭礼・年中行事等の調査を行うとともに、県民参加の講座等を開催し、伝統文化を活かした地域づくりのあり方を、徳島県伝統文化総合活性化計画として策定する。

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																
119	文化遺産の発掘と継承	文化財の保護・保存と活用 ○各地域の保存団体が実施する体験教室など地域の子どもたちを対象とする伝統芸能への取組を支援し、伝統芸能の継承を推進	事業目的 地域における伝統文化の体験活動を支援し、子どもたちが伝統文化にふれる機会を充実させることにより、地域住民と子どもたちの交流の機会を作り、地域における子育て力を育むとともに、地域コミュニティの活性化を図る。																
			取組状況 子ども伝統文化体験活動支援事業により、平成22年度は伝統文化の体験活動を実施するために必要な用具等の購入や修理を支援した。平成23年度は、平成22年度に支援した団体を中心に、34団体に12,945千円を補助した。																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>-</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	推進	推進	推進	-	推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	-	-	推進	推進	推進	-	推進												
			評価 ○【平成24年度の評価】市町村に対し、国の「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」の活用を呼びかけて、市町村の取組を促した。 ○【5年間のまとめ】のべ46団体に22,775千円を補助し、伝統文化の体験活動を支援できた。																
			今後の取組及び方向性 国の「文化遺産を活かした地域活性化事業」には地域の文化遺産次世代継承事業、伝統文化親子体験教室事業が新たに盛り込まれた。市町村に対し、同事業の活用を働きかけ、子どもたちを対象とした伝統芸能の継承を支援していく。 ○【第2期計画】4-3-2「郷土とくしまから学ぶ機会の充実」「伝統文化の継承と活用」「保存団体による継承・活用事業の開催への支援」																
番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																
120	文化遺産の発掘と継承	文化財の保護・保存と活用 ○国指定文化財(史跡含む)の指定選定数	事業目的 国指定文化財を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図る。																
			取組状況 歴史的景観を保全し、地域の活性化を図るため、国史跡指定や重要文化的景観の選定に向け、文化庁・市町村との調整を行った。 阿波瀬路道については、平成22年8月5日付けで「鶴林寺道 太龍寺道 いわや道」が国指定され、平成25年3月27日には「いわや道」の延長部と「平等寺道」の一部が追加指定された。 鳴門市においても、鳴門・板野古墳群を平成22年度から、板東停留所収容所跡については平成23年度から指定申請に向け、取組を進めているが、文化庁の指導等により、双方とも平成25年度以降に申請を行うこととなった。 また、他の市町村においても新たな候補地の準備作業を進めている。																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>92.3%</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	9	10	11	12	12	12	92.3%	13
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
9	10	11	12	12	12	92.3%	13												
			評価 ○【平成24年度の評価】阿波瀬路道等については、追加指定を含め、指定に向けた具体的な作業を進めることができた。 ○【5年間のまとめ】史跡においては、「板野丸山古墳」、「波瀬路道」が指定され、重要文化的景観においては「榎原の棚田」が選定された。鳴門市においても指定に向け、測量等の作業や文化財所有者の理解を進めている。																
			今後の取組及び方向性 阿波瀬路道等については、他の市町村においても国指定史跡に向けての取組が進められるよう支援を行う。鳴門市についても具体的な作業が進められるよう支援するとともに、文化庁等との調整に努める。 また、他市町村においても国指定史跡の取組が進むよう働きかける。 ○【第2期計画】4-4-1「文化遺産を活用した学びの場づくり」「文化財の保存と活用」【史跡等指定・選定数(累計)(追加指定を含む)】																

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性
121	文化遺産の発掘と継承	文化財の保護・保存と活用 ○勝瑞城館跡整備面積 	事業目的 徳島を代表する歴史文化遺産である「勝瑞城館跡」の整備事業を、国・県・町の役割分担に基づき支援する。 取組状況 国史跡「勝瑞城館跡」のうち、平成13年に指定された会所跡・枯山水庭園を中心とする区域を整備検討委員会が作成した年次計画に基づき整備し、平成24年度までに計画していた会所跡・枯山水庭園・縁跡の整備が完了した。 評価 ○【平成24年度の評価】監住町の取組により、整備が完了した会所跡・枯山水庭園・縁跡については、公開することができた。 ○【5年間のまとめ】整備については、目標面積には達していないが、平成25年度の全面公開に向けて取組を進めている。 今後の取組及び方向性 平成25年度に会所跡・枯山水庭園エリアを史跡公園として全面公開する予定で整備を進めている監住町を今後も支援する。 また、監住町は会所跡・枯山水庭園エリアの整備以降、礎石建物跡エリア等の整備を計画している。 ○【第2期計画】4-4-1「郷土とくまから学ぶ機会の充実」「文化財の保存と活用」 事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性 国指定史跡や周辺の文化財をつなぎ合わせて、各地の博物館・資料館と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進める。 取組状況 文化遺産の保存・活用の担い手となる各地域のボランティア候補者を、国史跡の整備を進める市町村を中心に県内から募集し、実践的な内容の講座を実施した。 埋蔵文化財センターにおいて、年間6回講座を実施し、受講生8名のうち、5名が修了した。修了生は減少したが、遍路道の国史跡指定を契機にフォーラム等を開催することにより、阿南市・勝浦町におけるボランティアグループの結成を促進した。 評価 ○【平成24年度の評価】修了生は5人であったが、県南部で遍路道の保護・活用に取り組むボランティアグループの立ち上げを支援することができた。 ○【5年間のまとめ】修了生の見込みよりも少なく、受講生も減少しているが、修了生・ボランティアグループが各地域の文化財保護・活用の活動をすすめており、文化財を活かした地域づくりに貢献できた。 今後の取組及び方向性 関係市町村、公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターとの連携を深め、より実践的な講座内容を企画し、実働力を持つボランティアを養成する。 また、修了生に、地域の市町村、文化財保護・活用団体等が行う史跡案内やイベント企画などへの参加を促し、活動の充実を図るとともに、活躍できる場を幅広く提供するため、他事業との連携を強化する。 ○【第2期計画】4-4-2「文化遺産を活用した学びの場づくり」「いにしえ夢街道」【いにしえ夢街道】(累計) 教育文化政策課
122	文化遺産の発掘と継承	「いにしえ夢街道」の構築 ○文化財ボランティア養成人数(累計) 	事業目的 国指定史跡や周辺の文化財をつなぎ合わせて、各地の博物館・資料館と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進める。 取組状況 文化遺産の保存・活用の担い手となる各地域のボランティア候補者を、国史跡の整備を進める市町村を中心に県内から募集し、実践的な内容の講座を実施した。 埋蔵文化財センターにおいて、年間6回講座を実施し、受講生8名のうち、5名が修了した。修了生は減少したが、遍路道の国史跡指定を契機にフォーラム等を開催することにより、阿南市・勝浦町におけるボランティアグループの結成を促進した。 評価 ○【平成24年度の評価】修了生は5人であったが、県南部で遍路道の保護・活用に取り組むボランティアグループの立ち上げを支援することができた。 ○【5年間のまとめ】修了生の見込みよりも少なく、受講生も減少しているが、修了生・ボランティアグループが各地域の文化財保護・活用の活動をすすめており、文化財を活かした地域づくりに貢献できた。 今後の取組及び方向性 関係市町村、公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターとの連携を深め、より実践的な講座内容を企画し、実働力を持つボランティアを養成する。 また、修了生に、地域の市町村、文化財保護・活用団体等が行う史跡案内やイベント企画などへの参加を促し、活動の充実を図るとともに、活躍できる場を幅広く提供するため、他事業との連携を強化する。 ○【第2期計画】4-4-2「文化遺産を活用した学びの場づくり」「いにしえ夢街道」【いにしえ夢街道】(累計) 教育文化政策課

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																												
123	文化遺産の発掘と継承	<p>【いにしえ夢街道】の構築 ○アワコウコ楽マイスター参加者数(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th></tr> <tr><td>参加者数</td><td>82</td><td>112</td><td>121</td><td>221</td></tr> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	参加者数	82	112	121	221	<p>国指定史跡や周辺の文化財をつなぎ合わせ、各地の博物館・資料館と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進める。</p> <p>アワコウコ楽マイスター事業が平成22年度に終了したのちは、埋蔵文化財に関する「体験講座」を、児童生徒や保護者を中心に実施した。平成23年度は、センター見学会やその他の体験学習会に約150名が(保護者含む)参加した。</p>	<p>取組状況</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>達成率</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>参加者数</td><td>82</td><td>112</td><td>121</td><td>221</td><td></td><td></td><td>138.1%</td><td>160</td></tr> </table> <p>目標達成 完了</p> <p>評価</p> <p>○【5年間のまとめ】アワコウコ楽マイスター事業を終了したものの好評であったため、形を変えて実施を継続している。実施内容については、参加者のニーズに応えるべく、工夫改善しながら取り組み、体験講座には、定員いっぱい参加があった。参加者からの評価も良好であった。</p> <p>今後については、体験活動や見学会など、気軽に参加できる内容の講座を検討し、次計画に継続していく。定員いっぱいへの参加希望があったため、定員枠を広げる等についても、検討していく予定である。</p>	項目	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	参加者数	82	112	121	221			138.1%	160
年度	H19	H20	H21	H22																												
参加者数	82	112	121	221																												
項目	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																								
参加者数	82	112	121	221			138.1%	160																								
124	文化遺産の発掘と継承	<p>【いにしえ夢街道】の構築 ○いにしえ夢街道活用ゾーン数(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>ゾーン数</td><td>4</td><td>4</td><td>6</td></tr> </table>	年度	H22	H23	H24	ゾーン数	4	4	6	<p>国指定史跡や周辺の文化財をつなぎ合わせ、各地の博物館・資料館と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進める。</p> <p>平成18年度より、いにしえ夢街道推進事業に取り組みできた。平成22年度までに、国指定史跡を中心とする4箇所のゾーン化をはかることができた。平成23年度から既設4ゾーンの以外に「阿波瀬道フォーラム」を開催するとともに、「阿波瀬道」ウオーク〜鶴林寺道〜」を実施することにより、県南部のゾーン化を行った。また、東みよし町において、小学生が町内の文化財に触れる教育活動と連携した「歴史ウォークラリー」を開催することにより、県西部のゾーン化を図った。</p>	<p>取組状況</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>達成率</th><th>目標値(累計)</th></tr> <tr><td>ゾーン数</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>4</td><td>4</td><td>6</td><td>100%</td><td>6</td></tr> </table> <p>評価</p> <p>○【平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性】県南部、県西部において、それぞれ阿波瀬道、丹田古墳を活かした取組によるゾーン化を図り、活用ゾーンを6ゾーンに拡げることができた。</p> <p>○【5年間のまとめ】既設4ゾーンでの取組の上に、県南部、県西部の2ゾーンにおいても文化財を積極的に活かした地域づくりを進めることができた。</p> <p>県西部のゾーンにおいて瀬道を活用したウォークラリーや講演会を開催することによって、瀬道の将来にわたる保護と活用に向けた地域住民によるボランティア組織の活動を支援し、ゾーンの定着化と拡大を図る。</p> <p>「いにしえ夢街道」構想に基づき、県民の参加・参画を促し、新たなゾーンの設定に積極的に取り組み、県民がふるさと徳島の歴史を再発見し、郷土を愛する心の育成を図る。</p> <p>○【第2期計画】4-4-2「文化遺産を活用した学びの場づくり」「いにしえ夢街道」【活用ゾーン設定数(累計)】</p>	項目	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値(累計)	ゾーン数	-	-	-	4	4	6	100%	6		
年度	H22	H23	H24																													
ゾーン数	4	4	6																													
項目	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値(累計)																								
ゾーン数	-	-	-	4	4	6	100%	6																								

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																					
125	学校における芸術文化活動の推進	学校への芸術家等派遣の推進 ○学校への芸術家等派遣回数(累計) <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>派遣回数</td><td>132</td><td>204</td><td>282</td><td>357</td><td>447</td><td>552</td></tr> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	派遣回数	132	204	282	357	447	552	事業目的 学校において、美術や音楽などの優れた芸術作品に触れる機会を充実するとともに、自主的に芸術文化活動に取り組み、その成果、児童・生徒の心に響くと、豊かな感性と情操を養う。							
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24																		
派遣回数	132	204	282	357	447	552																		
125			取組状況 文化庁の「次代を担う子どもたちの文化芸術体験事業一派遺事業」や「同事業一巡回公演事業」や「日本児童演劇協会による「児童演劇地方巡回公演」等や県の事業を活用し、小・中・高・特別支援学校に芸術家を派遣し、講話や実技披露を行った。平成22年度に創設した、学校と芸術家をつなげるための人材バンクの活用について、さらに周知を図った。																					
125			<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>達成率</td><td>132</td><td>204</td><td>282</td><td>357</td><td>447</td><td>552</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>520</td></tr> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	132	204	282	357	447	552	目標値						520
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24																		
達成率	132	204	282	357	447	552																		
目標値						520																		
125			評価 ○【平成24年度の評価】特定の学校が事業を希望する傾向があったが、人材バンクの周知と活用により、従来より派遣を希望する新しい学校が増え、派遣分野も広がった。 ○【5年間のまとめ】事業の周知や伝統文化に関する学習の推進により、実施会場数が増加しており、優れた芸術文化に触れる機会の充実が図られている。																					
125			今後の取組及び方向性 一層の事業周知を図り、より多くの学校から本事業の活用希望が出るよう働きかける。さらに、人材バンクの充実と活用を促すことで、児童・生徒の文化活動のより一層の充実を図る。 ○【第2期計画】2-6-1 「豊かな感性を育む芸術文化活動の推進」 「芸術文化活動の活性化」 【学校での芸術家等活動回数(累計)】																					
番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																					
126	学校における芸術文化活動の推進	文化の森総合公園文化施設の機能充実 ○企画展の開催	事業目的 国民文化祭の開催に合わせ、関連する企画展等を開催することで、優れた芸術文化や本県の伝統文化・歴史等への理解を深める機会とする。																					
126			取組状況 国民文化祭特別協賛事業として、21世紀館で実施した「文化の森で阿波踊り」「文化の森邦楽のつどい」、博物館の「日本のわざと美」展「重要無形文化財とそれを支える人々」 「【発見!阿波】歴史散歩を野外自然観察」、近代美術館の「特別展 墨と紙が生み出す美の世界」、文書館の「変わりゆく徳島の街並み」、鳥居龍蔵記念博物館の「鳥居龍蔵の見たまつり・おどり」等、17の企画展及び企画事業を開催した。																					
126			<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>達成率</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>開催</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>開催</td></tr> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	-	-	-	-	-	開催	目標値						開催
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24																		
達成率	-	-	-	-	-	開催																		
目標値						開催																		
126			評価 【平成24年度の評価】17の企画展及び企画事業に、約9万人の参加者があり、国民文化祭を機会に、多くの県民が、優れた芸術文化、伝統文化への理解を深められた。																					
126			今後の取組及び方向性 文化の森総合公園各館では、関係団体と幅広く連携し、魅力的な企画展、体験学習を実施し、各館の特徴を活かした取り組みを実施します。また、県民の文化活動の実践を支援するとともに、積極的に学校との連携を強化し、地域教育の拠点として、学校教育に貢献できるような機会の充実を図ります。																					

番号	127	事業名、数値目標実績 高等学校総合文化祭の開催・参加 ○近畿高等学校総合文化祭への参加	事業目的と平成24年度の取組状況、評価(含:これまでのまとめ)、今後の取組及び方向性																
目標	学校における芸術文化活動の推進		近畿各府県の高校生による芸術文化活動の総合的な発表会に高校生を参加させることにより、生徒相互の交流と研鑽を深めるとともに、心豊かな人間性の育成をめざす。																
取組状況	<table border="1" data-bbox="311 380 422 1288"> <tr> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>準備</td> <td>開催・参加者 6,032人</td> <td>参加者 367人</td> <td>参加者 204人</td> <td>参加者 177人</td> <td>参加者 146人</td> <td>達成</td> <td>開催・参加者 6,000人</td> </tr> </table>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	準備	開催・参加者 6,032人	参加者 367人	参加者 204人	参加者 177人	参加者 146人	達成	開催・参加者 6,000人	平成24年11月17日から25日の間、和歌山県で第32回近畿高等学校総合文化祭が開催された。総合閉会式をはじめ合唱、器楽、マーチング・パトントフーリング、日本音楽、演劇、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、新聞・小倉百人一首かるた部門に高校生が参加し、日ごろの芸術文化活動の成果を発表した。	
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
準備	開催・参加者 6,032人	参加者 367人	参加者 204人	参加者 177人	参加者 146人	達成	開催・参加者 6,000人												
評価		○【平成24年度の評価】国文祭等との日程調整の都合で、平成24年度は前年より参加人数が減ったが、参加できた部門の生徒にとっては、有意義な大会となった。 ○【15年間のまとめ】近畿高等学校総合文化祭に本県の高校生を参加させることにより、各地域の伝統文化の継承や新しい芸術文化の創造に直接関わるなど、高等学校等における文化活動の活性化が図られた。 各部門における技術向上や発表機会の充実を図るため、徳島県高等学校文化連盟と連携し、派遣事業を実施する。 人材バンクの活用など外部講師による指導を受けられる機会を充実させ、生徒の技術の向上を図る。																	
今後の取組及び方向性		○【第2期計画】2～6-1 「豊かな感性を育む芸術文化活動の推進」 「芸術文化活動の活性化」																	
教育文化政策課																			

